

## モンゴル

2007年のモンゴル経済の動向は、高い成長を実現した。実質GDP成長率は、1990年の市場経済移行後、二番目に高い9.9%となった。この高い成長は主に農業とサービス業によって達成された。家畜の頭数は歴史的な記録水準である4億300万頭に達し、農業部門のGDPに占める割合は2005年の19.5%から20.6%に上昇した。

モンゴルに対する直接投資（FDI）の大部分は鉱業部門に集中しているが、同部門の付加価値額の伸び率は他部門を大きく下回った。産業生産額の成長率は高く、国家財政収支も3年連続の黒字を記録し、失業者数も減少している。しかしインフレ率（消費者物価）は高まっており、過去10年間で最高の15.1%に達した。一方、通貨トゥグルグの対米ドル名目為替レートは安定しており、年間に0.4%の減価にとどまった。このためIMFはモンゴルの為替レートを変動相場制から、固定相場制に分類しなおした。また貿易収支の赤字も増大している。為替レートはトゥグルグが若干増価している。

2008年の成長率は8.7%と予測されており、1月の経済指標はこれに向けて好スタートを切ったように見受けられる。

### 国家財政

2007年の国家財政収支黒字は1,020億トゥグルグで、GDPの2.2%に相当する。しかし政府の拡張的財政支出政策により、前年を18.1%下回った。財政収入は前年を36.1%上回り、支出は計画を3.7%下回ったにもかかわらず、前年を41.4%上回った。租税収入は法人及び個人所得税を除く全ての税目について増加し、一方で経常支出は38.6%、資本支出は63.4%、それぞれ増加した。賃金・給与は48.8%増加し、公務員の平均給与は300ドルに達した。

### 産業部門

2007年の産業生産額は製造業部門の成長の加速により、10%を記録した。製造業の生産額は前年比37.7%と高い成長を記録し、エネルギー・水部門が同3.7%の伸びとなった。一方、鉱業部門は同0.4%となった。鉱業部門の生産額は、産業生産額67.8%を占めており、製造業が24.3%、エネルギー・水部門が7.9%となっている。数量ベースでは155の主要品目で生産が増加し、100品目で減少した。

2007年の産業製品の総出荷額は2兆6,000億トゥグルグで、その68.6%が輸出向けであった。鉱業部門の出荷額の86.3%、製造業部門の出荷額の49.3%が、それぞれ輸出向けであった。2007年の原油の生産高は833,200バレルで、前年の2.3倍となった。モンゴル国内には石油精製施設がないため、原油は全て輸出された。同期の石炭の生産高は880万トンで、その49.3%が輸出された。

### 農業部門

2007年は穏やかな天候に恵まれて、家畜頭数は4,030万頭に達した。このうち、1,830万頭がヤギ、1,700万頭が羊、240万頭が牛、220万頭が馬、26万頭がラクダである。モンゴルでは226,100戸の家計が家畜を所有しており、そのうち171,200戸が牧畜農家である。牧畜農家は1戸あたり平均176頭の家畜を所有し、その内訳はラクダ1頭、馬10頭、牛11頭、羊74頭、ヤギ80頭となっている。牧畜農家の46.7%が100頭以下、24.1%が200頭以下、22.7%が500頭以下の家畜をそれぞれ所有している。さらに5牧畜農家の5.1%が501頭以上1000頭以下の家畜を、1.5%が1001頭以上の家畜を所有している。また、88,500戸の牧畜農家が太陽電池による電源を所有している。

2007年には202,700haの農地が作付された。このうち穀物が60%、野菜が8.9%、飼料作物が2.4%を占めた。穀物の収穫高は114,800トンで、ジャガイモは114,500トン、野菜は76,500トンとなった。これらは国内消費のそれぞれ79.1%、72.7%を占めた。

### 外国貿易

2007年の貿易総額は40億ドルで、前年比32.3%の伸びとなった。このうち、輸出は同22.5%増の19億ドル、輸入は42.5%増の21億ドルであった。輸入の伸びが輸出を上回ったため、貿易収支の赤字額は、2億2,830万ドルに拡大した。

2007年の輸出相手国は65カ国、そのうち中国が圧倒的首位で輸出全体の74.4%を占め、カナダ9.5%、米国3.4%、イタリア3.0%、ロシア3.0%、韓国2.2%がこれに次いでいる。これらの上位6カ国で輸出全体の95.5%を占める。鉱産物の輸出に占めるシェアは増加しており、68.9%に達した。輸出額の増加は生産の増加によるものでなく、主に輸出品の国際価格の上昇に伴う価格効果によるものである。例としては銅精鉱の価格は2006年の1,059.9ドル/トンから、2007年には1,335.2ドル/トンに上昇したため、輸出数量は1.4%しか増加していないが、輸出額は27.7%増加している。

2007年の輸入相手国100カ国、そのうちロシア、中国が引き続き主要相手国であり、それぞれ全体の34.6%、31.7%を占めた。この他の相手国としては、日本6.0%、韓国5.5%、ドイツ3.5%が次ぎ、これら上位5カ国で輸入全体の81.3%を占めた。国際市場での原油価格の上昇は、モンゴルの主要輸入品の一つである石油製品の輸入額を上昇させている。2007年の石油製品の輸入量は782,600トンで、輸入額は5億5,130万ドル、輸入全体の26.0%となった。石油製品の92.7%はロシアから輸入されている。

### 最近の政策

鉱業部門において：

- ▶ カナダのIvanhoe Minesとの間で結ばれたオユ・トルゴイ銅鉱に関する投資仮契約は2007年12月の

国会における議論によって撤回された。新内閣は同鉱山に対する国の出資の上限を、34%から50%に引き上げることを検討している。多数派はモンゴルにおける鉱業税の立法を主張している。

- ▶ 政府はタバン・トルゴイ炭鉱を、100%国営とすることを検討している。

政府は民間企業発展プログラムを策定中。

2007年7月に中小企業法が成立した。

政府は2008年を「食料供給と安全の年」と定めた。

社会保険法の修正により、モンゴルの雇用主の社会保険負担率は19%から10%に引き下げられた。これは年金と医療保険の双方に適用される。

2008年1月1日より、最低賃金が53,000トゥグルグから108,000トゥグルグに引き上げられた。

“1児童に1台のコンピュータ”プログラムが2008年1月より開始された。

(ERINA調査研究部研究主任 Sh. エンクバヤル)

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2007年1Q	2Q	3Q	4Q	2008年1月
GDP成長率(対前年比:%)	5.5	10.7	7.1	8.6	9.9	-	-	-	-	-
産業生産額(対前年同期比:%)	6.0	10.5	4.2	9.1	10.0	11.2	14.8	16.0	2.7	11.6
消費者物価上昇率(対前年同期末比:%)	4.7	11.0	9.5	6.0	15.1	2.2	6.3	13.2	15.1	-
登録失業者(千人)	33.3	35.6	32.9	32.9	29.9	32.2	31.8	32.3	29.9	29.7
対ドル為替レート(トゥグルグ)	1,168	1,209	1,221	1,165	1,170	1,165	1,164	1,184	1,170	1,172
貿易収支(百万USドル)	185.1	151.4	119.4	57.2	228.3	22.1	54.3	130.5	65.7	1.8
輸出(百万USドル)	616	870	1,065	1,543	1,889	371	465	463	589	217
輸入(百万USドル)	801	1,021	1,184	1,486	2,117	349	519	594	655	215
国家財政収支(十億トゥグルグ)	61.9	16.4	73.3	124.5	102.0	72.7	25.2	259.8	255.7	38.4
国内貨物輸送(百万トンキロ)	7,504	9,169	10,267	9,693	9,042	2,385	2,297	2,454	2,166	-
国内鉄道貨物輸送(百万トンキロ)	7,253	8,878	9,948	9,226	8,373	2,199	2,072	1,957	2,144	736
成畜死亡数(千頭)	1,324	292	677	476	294	47	134	30	83	50

(注) 為替レート、登録失業者数は期末値。

(出所) モンゴル国家統計局「モンゴル統計年鑑」、「モンゴル統計月報」各号ほか